

第35回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー

糖尿病の我が国における患者数は、2013年の時点で950万人で予備軍を入れると約2,050万人とも言われております。今や国民病の感となりました糖尿病の恐ろしさは、糖尿病性合併症が患者に与える苦痛あるいは生命の短縮にあるといえます。この増加の一途を辿る糖尿病に、いかに対処するか、医師をはじめとした医療チームに課せられた責任は大きいものです。恐るべき本症への対応には、単に糖尿病専門家に任せるだけではなく、進歩の著しい知識を医療一般に関与する全ての人々が理解し治療の術を身に付けることが何よりも重要ではないかと考えます。

糖尿病 Up・Date 賢島セミナーを、34年間にわたって賢島（伊勢志摩国立公園）で開催致しましたところ、医療に携わる様々な分野から多数の方々に参加していただき、「最新の情報が分かりやすい解説で、日常に役立つ」と大好評を博し、今後も当セミナーを引き続いて定期的に開催する運びとなりました。

新しいシリーズのテーマは、第31回より“糖尿病へのシームレス・ケア”とし、世話人一同糖尿病に関する知識が幅広い人々に普及するよう努めたいと念じております。第35回の今回は“臨床研究から日常診療へのシームレスな活用—ジェネライズド・ケアとオーダ・メイドの対応—”というタイトルで下記のように開催することになりました。糖尿病に興味をお持ちの方に多数参加していただけますよう、ここに御案内申し上げます。

代表世話人 堀田 饒

記

テ ー マ	“臨床研究から日常診療へのシームレスな活用 —ジェネライズド・ケアとオーダ・メイドの対応—”
日 時	平成30年8月25日（土）、26日（日）
会 場	志摩観光ホテルクラシック 〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明 731
セミナー記録	セミナーの記録は一冊の本にまとめられ出版されます。
セミナー参加費	50,000 円。proceedings 代を含みます。（※宿泊費は含まれておりません。） また、8月25日の懇親会をかねた夕食、及び8月26日の昼食を事務局にてご用意させていただきます。
参加申し込み	氏名、住所、電話番号を明記の上、FAX（052-652-5623）にてお申し込み下さい。事務局より詳細をお送り致します。 （参加人数は100名にて締切らせて頂きます。）
宿泊申し込み	株式会社 阪急阪神ビジネストラベル 糖尿病 Up・Date セミナー係 〒450-8533 名古屋市中村区名駅 2-45-14 東進名駅ビル 5F TEL: 052-563-0031 FAX: 052-563-0039 TEL または FAX にてお申し込み下さい。 （満室になり次第締め切らせて頂きます。）
世 話 人	堀田 饒 （中部労災病院） 清野 裕 （関西電力病院） 門脇 孝 （東京大学） 羽田 勝計 （旭川医科大学） 中村 二郎 （愛知医科大学）
後 援 事 務 局	日本糖尿病学会、日本医師会、愛知県医師会、岐阜県医師会、三重県医師会 中部労災病院 堀田 饒 〒455-8530 名古屋市港区港明 1-10-6 TEL: 052-652-5511（内線 7174） FAX: 052-652-5623

第35回 糖尿病 Up・Date 賢島セミナー プログラム
 “臨床研究から日常診療へのシームレスな活用”
 —ジェネラライズド・ケアとオーダ・メイドの対応—

第1日目 (8月25日)

14:00~14:10 開会の辞

14:10~16:30 セミナーⅠ：臨床研究に学ぶ日常診療へ応用可能な対糖尿病戦略
 司会：南條 輝志男 (和歌山ろうさい病院)

14:10~14:40 講演：臨床研究から日常診療への応用の実際と限界
 荒木 栄一 (熊本大学)

14:40~14:50 発言：1. 病態把握に欠かせない検査と対糖尿病戦略
 中島 英太郎 (中部ろうさい病院)

14:50~15:00 2. 血糖変動とHbA1cからみた対糖尿病戦略
 難波 光義 (兵庫医科大学)

15:00~15:10 3. 遺伝的素因からみた対糖尿病戦略
 池上 博司 (近畿大学)

15:10~15:20 Coffee Break

15:20~16:30 総合討論

16:30~17:00 症例検討のセミナー：困った症例
 司会：堀田 饒 (中部ろうさい病院)
 症例呈示：茂木 幹雄 (愛知医科大学)
 コメンテーター：稲垣 暢也 (京都大学)
 ：中村 二郎 (愛知医科大学)

17:00~17:20 休憩

17:20~19:20 会食・懇親会
 司会：堀田 饒 (中部ろうさい病院)
 ディナースピーチ：＜基礎研究から臨床応用への夢＞
 花房 俊昭 (堺市立総合医療センター)

19:20~19:40 休憩

19:40~22:00 セミナーⅡ：薬物療法からみた日常診療でのアップ・デートな対糖尿病戦略
 司会：清野 裕 (関西電力病院)

19:40~20:10 講演：臨床医研究に学ぶ糖尿病治療の現況と展望
 門脇 孝 (東京大学)

20:10~20:20 発言：1. インスリン治療一分注と持続注入—適応と限界
 内潟 安子 (東京女子医科大学)

20:20~20:30

20:30~20:40

20:40~20:50

Coffee Break

20:50~22:00

総合討論

22:00~22:10 休憩

22:10~23:40 懇親会

第2日目 (8月26日)

8:20~8:50

トピックス：J-DOIT3 とそれが教えて呉れること

司会：谷澤 幸生 (山口大学)

講演：植木 浩二郎 (国立国際医療研究センター研究所)

8:50~11:10

セミナーⅢ：対糖尿病戦略からみた諸合併症に対する日常診療での対応の
 ミニマム・リクワイアメント

司会：中村 二郎 (愛知医科大学)

講演：リスクファクターからみた糖尿病性合併症対策のアップ・デート
 羽田 勝計 (旭川医科大学)

8:50~9:20

9:20~9:30

発言：1. 腎疾患の最前線と対糖尿病戦略
 古家 大祐 (金沢医科大学)

9:30~9:40

9:40~9:50

2. 脳血管障害の最前線と対糖尿病戦略
 梅村 敏隆 (中部ろうさい病院)

9:50~10:00

Coffee Break

10:00~11:00

総合討論

11:10~11:50

鼎談：日本糖尿病学会の各種ガイドラインおよび

各種委員会報告からみた日常診療への適切な活用

清野 裕 (関西電力病院)

門脇 孝 (東京大学)

羽田 勝計 (旭川医科大学)

11:50~12:00

閉会の辞

12:00~13:00

昼食

日本医師会生涯教育講座 7.5単位

■カリキュラムコード

7. 医療の質と安全 73. 慢性疾患・複合疾患の管理

9. 医療情報 76. 糖尿病

10. チーム医療